

華陽皮相

華陽皮相序

昔者羅山先生與校人黑澤生敘
驪黃物色余聞其語未見其書也
頃者有人以其卷謁言於林祭酒
林子使木文熙摸焉余亦得寓目
矣其馬數十著彩別色垆野羣聖
而可辨然毛色唯有名號而無義

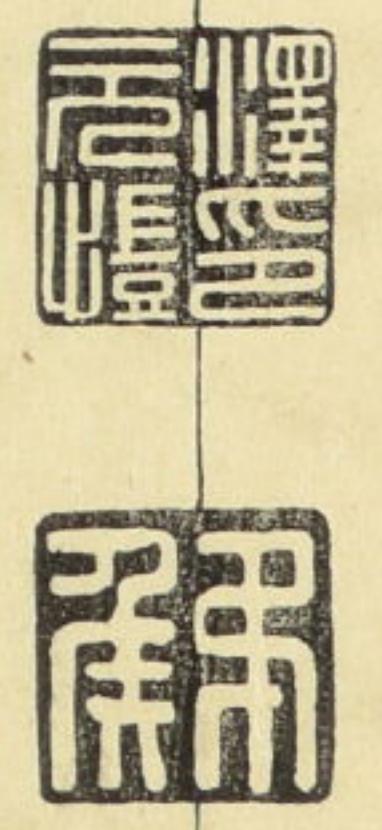


說是以傳摸之差無由是正且轉
寫之遠年久亦失顏色有不可信
從者試就爾雅諸書而正焉果是
傳者之或失安知體裁之非舊曰
刪其重複而補不足疑者闕如也
畧舉義說以備考焉得馬六十有
三更倩文瀝而圖之奔蹏趨蹌設

色之巧已超原圖遠甚書未成早
爲好事者所窺頻請倭其文而便
于童覽於是體裁大有逕庭乃名
曰華陽皮相然此舉本自物色而
說中每稱原圖故述其顛末而明
有所受爾

天明己酉孟春二十有六

後學山城澤元愷撰



書已脫稿後得驪黃物色圖
說而讀之我書猶如遼豕然
已授剖劂且不及回辨其
和名以附于後序言已係體
裁故不復追改也

元愷識

箭雲翹陸
皎雪決波

馬の毛色深黒なりと驪と名く説文小人也今此俗鳥
 思とふ不雅の其色を釋せば其黒の純きなり
 疑りしるるが故に驪馬の上色なり故に駒の
 詩の首章に有驪を黄と稱と黄之馬の上も也也
 埤雅にみえたり不雅小驪北驪牡といふも牡馬の驪と
 貴ぶが也驪と思とふもその驕の深きなりはら
 り別小名を立ぬり鐵驪といふも黒色なれども赤と
 青といふ帯てしるも鐵のといふも隆細の流も唯
 色のとならず其堅はるるも鐵のといふも
 志りれども終に驪馬の純きなりと云ふべし

驪馬の毛色深黒なりと驪と名く説文小人也今此俗鳥
 思とふ不雅の其色を釋せば其黒の純きなり
 疑りしるるが故に驪馬の上色なり故に駒の
 詩の首章に有驪を黄と稱と黄之馬の上も也也
 埤雅にみえたり不雅小驪北驪牡といふも牡馬の驪と
 貴ぶが也驪と思とふもその驕の深きなりはら
 り別小名を立ぬり鐵驪といふも黒色なれども赤と
 青といふ帯てしるも鐵のといふも隆細の流も唯
 色のとならず其堅はるるも鐵のといふも
 志りれども終に驪馬の純きなりと云ふべし

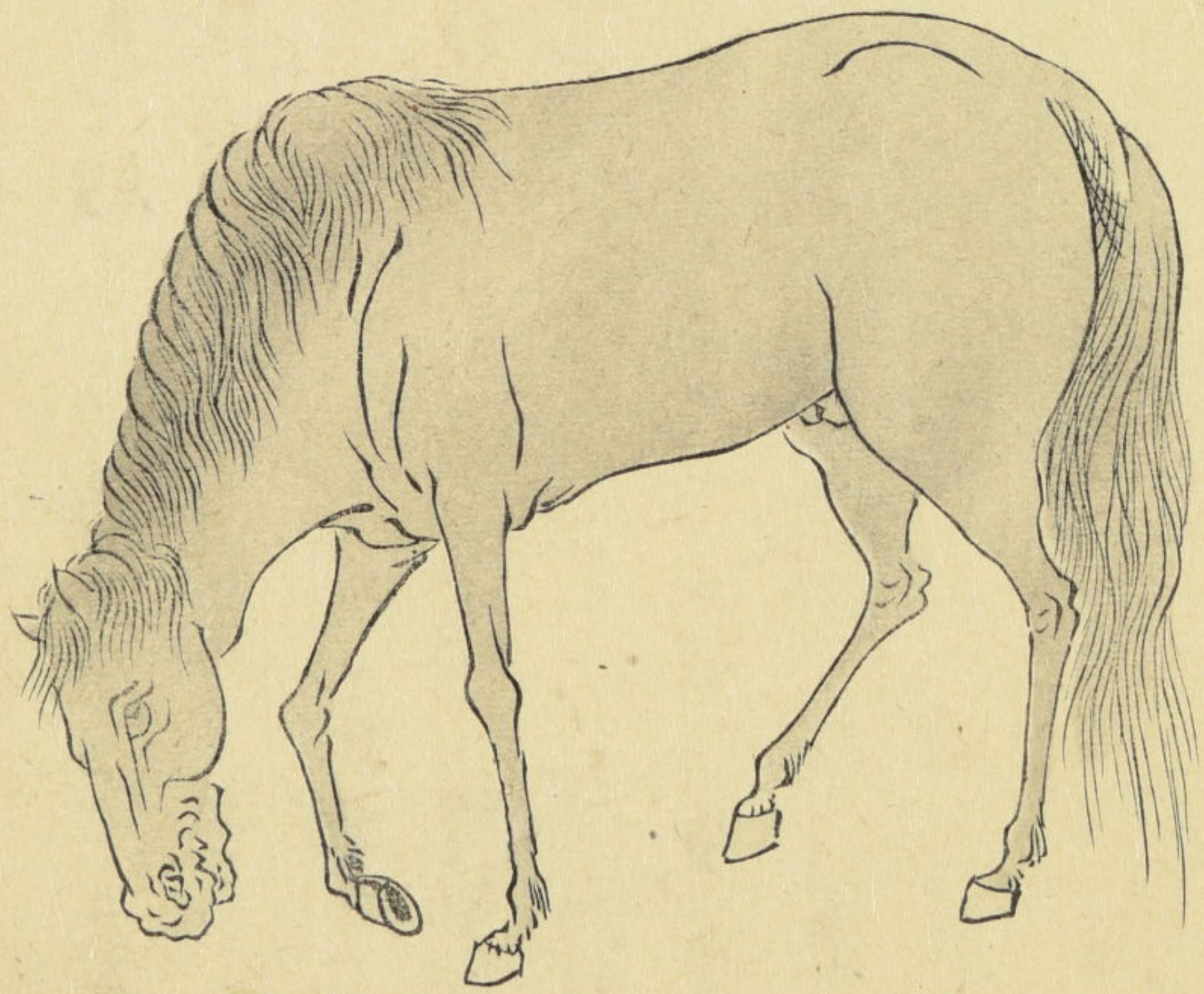


弱ケンハ今ノ青毛也一名と鐵驄テツシウといふ宋雅の注少色を
 云々鐵の字を賦テウして馬の名を鐵驄鐵驪を
 皆を色名と鐵乃ぞくたるふありありあり。説文馬
 ノ赤黒色と賦テウととて又驄シウハ今ノ赤毛也
 其色青白也雜也と宋雅もみえり。又黒油コウ緑リョク色シキを
 馬小名と雜シハ馬の色とて俗ソコハ黒油コウ緑リョク色シキを
 馬ウマハ黒油コウ緑リョク色シキを馬と名ナ也和名類
 聚シユ抄セウ少シウく流リウみとて此字麻マといふ

弱ハ今ノ青毛也一名と鐵驄といふ宋雅の注少色を
 云々鐵の字を賦して馬の名を鐵驄鐵驪を
 皆を色名と鐵乃ぞくたるふありありあり。説文馬
 ノ赤黒色と賦ととて又驄ハ今ノ赤毛也
 其色青白也雜也と宋雅もみえり。又黒油緑色を
 馬小名と雜ハ馬の色とて俗ハ黒油緑色を
 馬ハ黒油緑色を馬と名也和名類
 聚抄少く流みとて此字麻といふ

赤雅ス子蒼白雜毛と驪スと一ト埤雅ガの一ト説ク蒼黒驪
 兔と驪スとハ此ノ驪トと名クふトいハまト鳥ノ驪トとハなりト也
 不レ立ルふト驪ノ毛ヲ諸ノ説ニありトもレ斑ニ也トすル家
 畜ノ赤雅トと合シと後ハ一ト斑ニ也ト今ハ俗ニ驪トをハ鬮トと
 云フ是ノ赤ノ毛ヲ色ニ似テくハ海ノ赤ノ毛ト同シ也
 又ハ蒼黒ノ間ノ毛ト也トあリまシくハ俗ニ驪トをハ鬮トとシふ
 くハあリまシくハ也ト和名抄ノ一ト説ク驪ハ鬮ト也ト

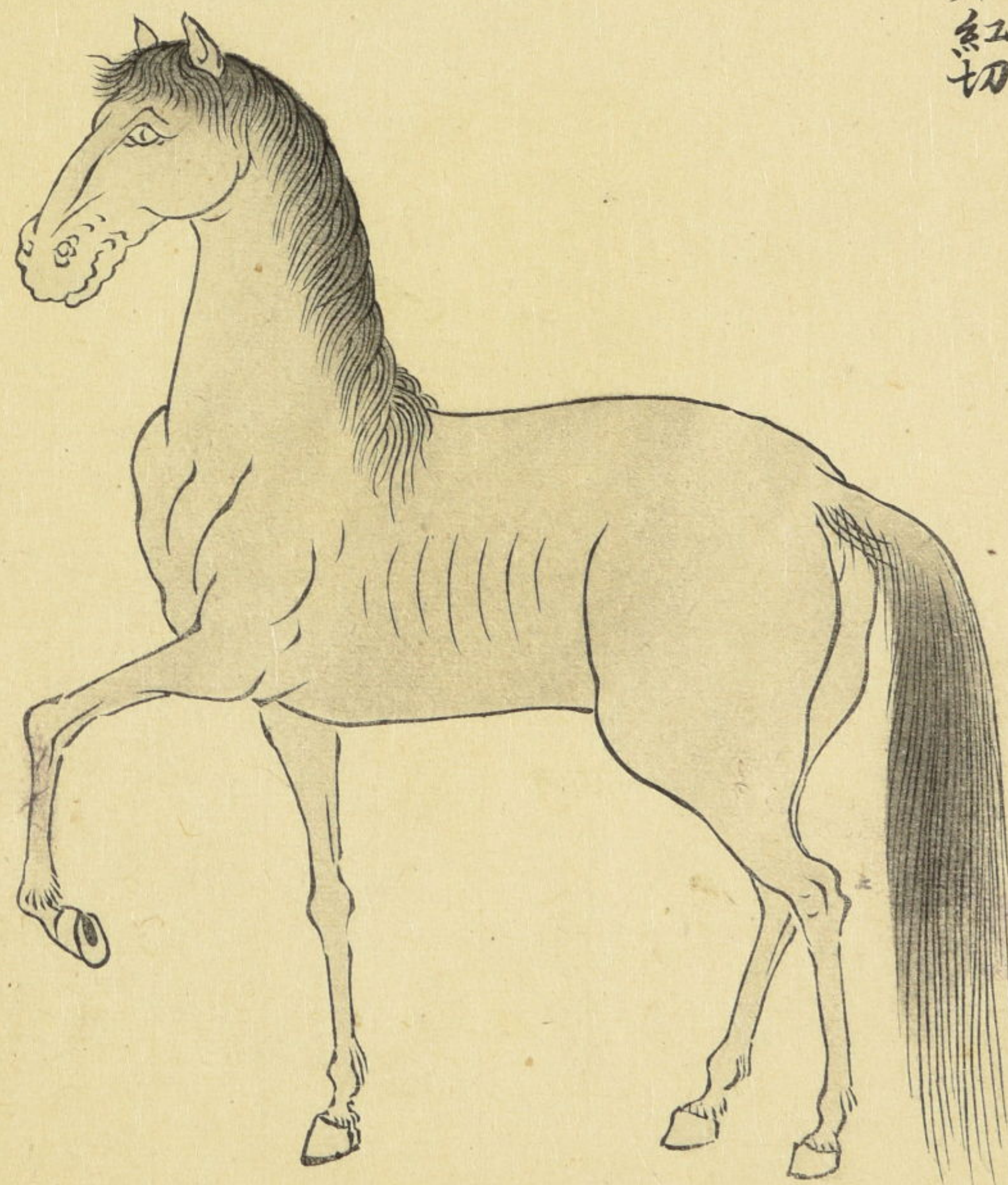
驪 職 追 切



黃驄



驄
倉紅切



駮ヒヤウと或ハ鳥驄ウサウとも名ク和ハ黒ハ毛トシテ赤坂ノ驄
 とも名モ其ノウラハ有ル也其ノ駮ヒヤウとも名ク有ハ埤雅ハ鳥駮
 とも名ク有ハ故ハ詩ハ柔駮ゼウハの毛トシテ古ハ駮駮通
 一曰ハ駮ヒヤウハ名物辨解等ハ書ハ詳ト闕ク其レハ
 其要トシテ其色黒白ノ間ハ有ル故ハ赤雅ハ驪白雜毛
 を駮ヒヤウトシテ其色黒白ノ間ハ有ル故ハ赤雅ハ驪白雜毛
 とも一入ヒヤウ有ルベシ泥驄ニハ出ヒヤウとシテ駮ヒヤウあり
 驄クダハ俗ハ赤トシテ其色トシテ赤也赤雅ハ黃白ト驄也ト釋シヤクト
 詩ハ皇ノ字ト用テ又驄ハ俗ハ赤トシテ其色トシテ赤也
 色ノ駮也トシテ其色トシテ赤也トシテ赤也トシテ赤也トシテ赤也

驄
胡先切



駮
博抱切

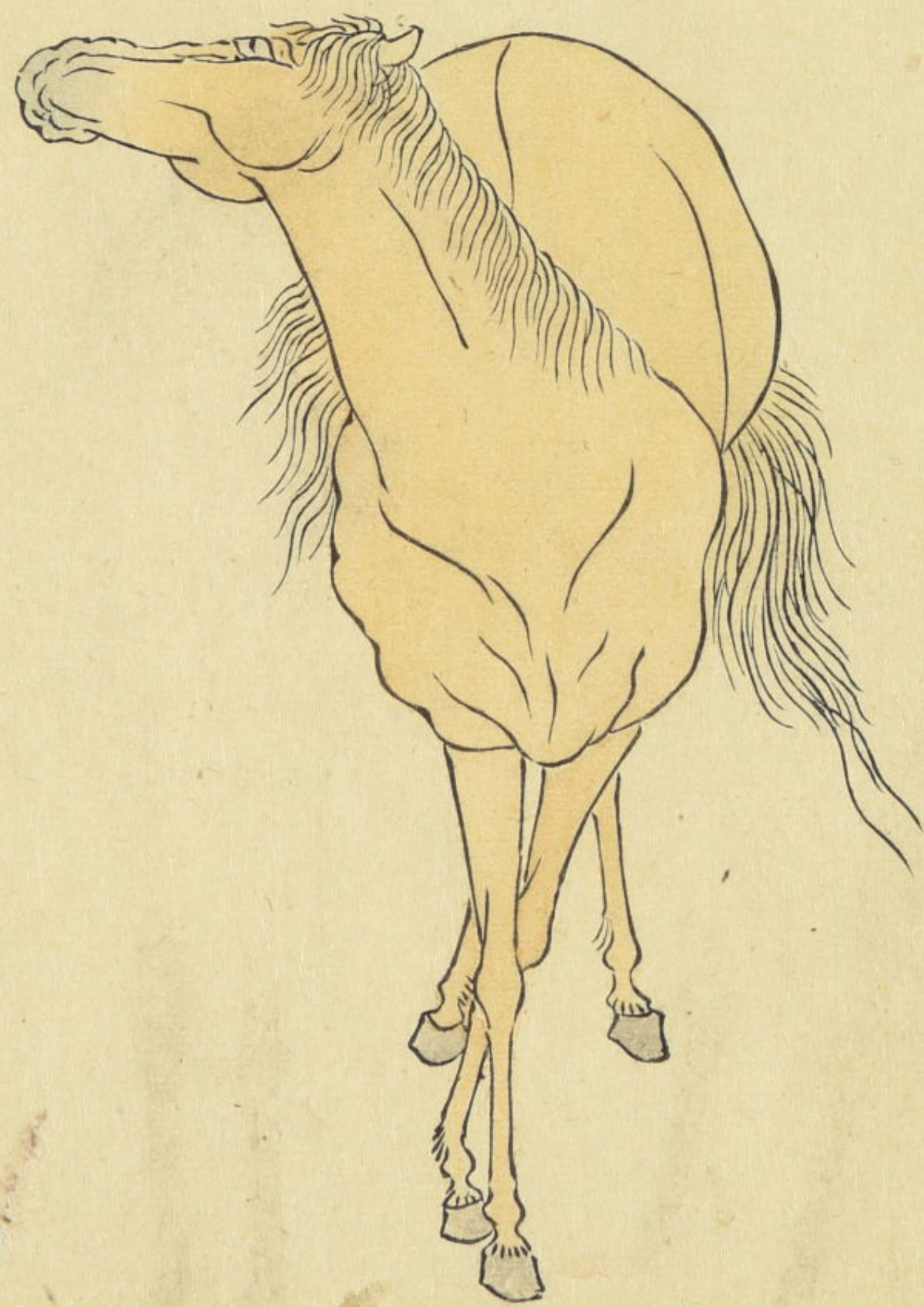
驪リ一名と連錢レンゼン驄ソウといふ詩爾雅の注ふるの昂オウといふ
もそれ稱をとりて連錢の毛とよぶのを斑文ハニ錢ゼンとあら
魚イサありの如くたうといふ也又の名は青驪セイリ驄ソウといふ亦雅
子コみを其文魚驪リの如くあるふとわりの注せよ、驪リと
名なく集韻シツインといふ名は驪リと名するの注文シツイン青驪セイリ白
驪リ文モン如ニ鼈カメ魚イサとあり鼈カメの龍リウの類レなりて蜥蜴セキテキの形カタ
似ニく長ナガと大オホ餘ヨリを積ツクる光ヒカありと古コへを皮クニ少オホく鼓ウタと冒オホ
と鼈カメ鼓ウタといふ近時紅毛國ニあり載シ来キる鼈カメ龍リウといふふもこれ
也ナリとて馬ウマの斑文ハニを驪リ甲カウに似ニせれば驪リといふ名ナも是
又驪リは連錢レンゼンとすといふあり待傳マツデンといふもありの青驪セイリ文モン

如傳ニ棋キといふ是とて連錢レンゼンを驪リと名するの棋キ子コといふとる
おとあるふとありありの注を斑文ハニととりて名もありの也
と深處コキトコロの青驪セイリなりて白シロと白シロ魚驪リの如ニ後ノチにニ此コノ大
のふははしていへば連錢レンゼンも三種サンシュあり稠密チウミツあると希疎キソある
とたりの名ナあり白點ハクテン大小ダイコウ疎ソある小コ也ナリとてふ名ナもいふ大ダイか
ると驪リとて疎ソなりと小コあり成語セイゴといふ人の姑メカシ疎ソして後ノチ考
と待マツ又マツ按ニ連錢レンゼンといふ名と鼈カメのふははして餘ヨリのふはは
驪リハ赤黃セキワウ也ナリと赤馬セキバ也ナリと詩傳シデン説文セツモンハ赤セキと
驪リ牛ウシといふありと馬ウマ少オホくいふと鼈カメの類レ也ナリ俗ソクの
番カウ驪リ也ナリといふもあつて今イマのふははして茶チヤ也ナリあり

驪
唐何切



駢
息管切



駟^{ケシ}ハ緑^{リヨウ}馬也油ハ^ユす毛^ケカ^カの和名^{ワナ}鈔^{シヨウ}ハ云^{クモ}油馬^{ユウバ}ハ糟^{カス}毛^ケ馬也
 と駟^{ケシ}油^ユ馬^バハ此^{コノ}ヨ^ヨキ^キ糟^{カス}毛^ケハ此^{コノ}毛^ケ也^{ナリ}と^ト糟^{カス}毛^ケと^ト油^ユと^ト以^モ油^ユハ
 余^コ枚^キ乃^ノ友^ト里^リ袖^{スエ}の字^ジと通^ト毛^ケ中^{ナカ}岡^カと^ト以^モ光^ヒある^ガ如^ニある
 於^ニハ^ハ油^ユ馬^バと^ト名^ナく^ク篇^{ヘン}海^{カイ}ハ油^ユハ物^{モノ}の光^ヒ有^ル也^{ナリ}と^ト注^ツ一^{イチ}又
 未^ク素^ソの光^ヒ有^ル也^{ナリ}と^ト古^コ詩^シハ^ハ願^{ガン}草^{ソウ}油^ユと^ト云^クある^ガも^モ茶^{チャ}緑^{リョク}ハ
 油^ユ其^キ面^{メン}と^ト以^モ入^ニる^ル也^{ナリ}と^ト云^クある^ガも^モ油^ユハ
 駟^ユハ玉^ユ篇^{ヘン}ハ紫^シ馬^バ也^{ナリ}と^トす^ル故^コハ^ハ東^{トウ}國^{クニ}ハ^ハ荔枝^{レイシ}枝^シ吉^キ銅^{ドウ}の^ノ色^{シキ}ナリ
 彩^{サイ}と^ト云^クれ^ル也^{ナリ}と^ト云^クある^ガも^モ紫^シ色^{シキ}ハ^ハ所^{トコロ}ナ^クず^ズ後^{コト}乃^ノ紫^シ駟^シ馬^バと
 相^{サイ}照^{シヨウ}して^シ見^ミる^ルべ^シ和^ワ名^ナ栗^リ毛^モ

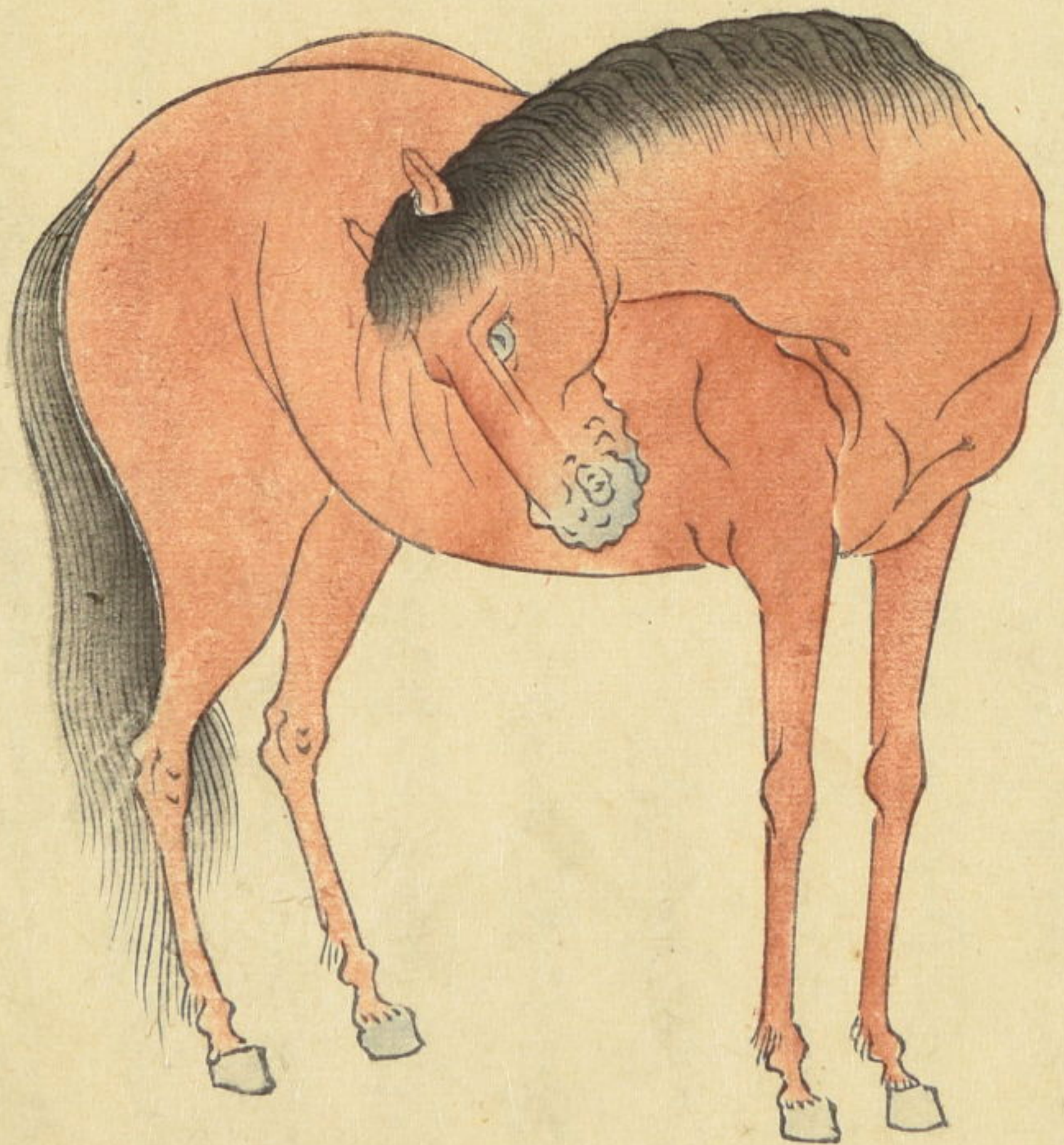
駟油馬



駟羊朱切

駢リウハ駒リウと同リウ赤馬黒鬣也と詩傳小みえり日ハ
 赤駢リウと稱リウ一因穆ホクのハ駿シニ一華駒あり皆赤色と云ハ
 赤雅リウと云駢リウの色と釋シヤク云く唯駢馬白腹シヤクの驪ガクなりと云
 埤雅リウ小驪ゲクと赤馬白腹シヤクと云れハ駢リウの驪ガクと同色と云驪ガク
 淺絳セシ色ガクなれハ駢リウと云れハ同リウ地ガクと云れハ赤馬を廉毛ガクと
 云ハ是ゼハあはびそ赤廉毛ガクと云ハ赤馬を廉毛ガクと云ハ赤馬を廉毛ガク
 云ハ赤馬を廉毛ガクと云ハ赤馬を廉毛ガクと云ハ赤馬を廉毛ガク
 或ハ勝ガクと云ハ赤馬を廉毛ガクと云ハ赤馬を廉毛ガク
 且ガク屬ガクと故ガクハ駢リウ也と云ハ赤馬を廉毛ガクと云ハ赤馬を廉毛ガク
 の赤ガクハ赤馬を廉毛ガクと云ハ赤馬を廉毛ガクと云ハ赤馬を廉毛ガク

駢リウ
カ求切

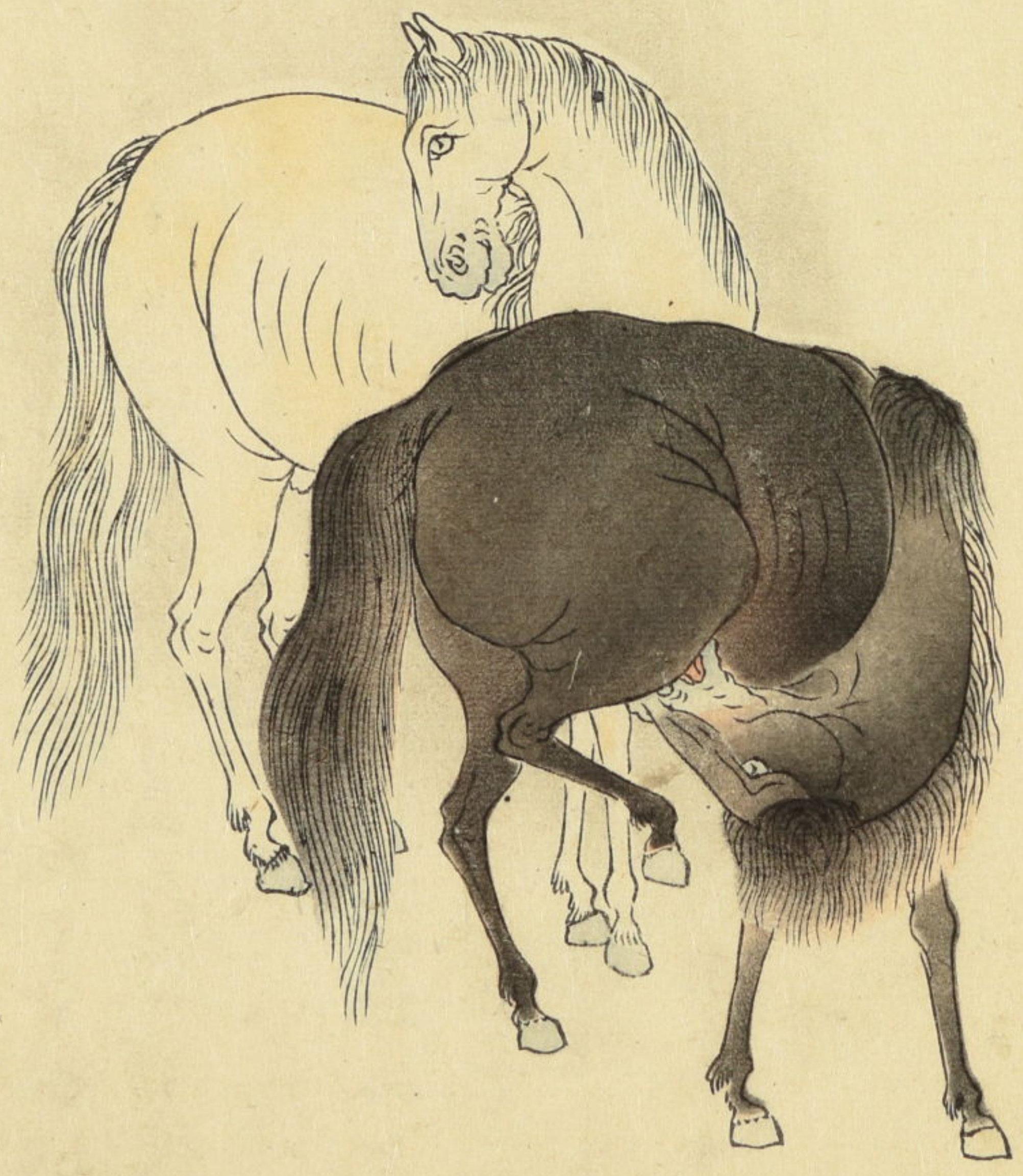


黄駢クワハリウノ粟毛カシと云ふなり。駢ハ赤馬カシと鬣カシなれば、黄駢ハ
 赤馬カシノ鬣カシと加へて、鬣カシ鬣カシと云ふ。東國駢ノ類皆鬣カシと
 云く、以テ大抵鬣カシ鬣カシと云ふ馬ハ尾毛カシも赤カシなれば、紫駢シハ赤
 鬣カシノ字カシに、青蓮シヤクレン花カシ色カシノ彩サイト云ふ。古人カシハ紫色カシハ
 赤カシと相近カシ、故カシニ奪カシ朱カシノ嘆カシあり、故カシニ玉篇カシハ駢カシ字カシと釋カシす。
 紫駢シハ紫鬣カシ馬カシと云ふ。紫駢シノ色カシも前カシノ駢カシ馬カシと別カシあり、
 乃カシ字カシハ遂カシテ求カシむ。駢カシ馬カシノ其カシ鬣カシ粉カシ色カシあり、是カシ粉カシ色カシハ粉カシ
 白カシト云ふ。是カシ俗カシノコホト、又カシ水經カシ注カシハ白カシ口カシ駢カシト云ふ。
 河カシ字カシハ、カシこれ類カシなるべし。



河より馬をとりてつるふ漢世に桃花馬と稱するはこれぞ
 めあづるす唐岑参が詩に君家赤驃画名得一圖旋風
 捲必多とありて後れどもいふも直に桃花馬といふは元
 馬祖常が桃花馬の傳あり云く白毛紅點は排排と
 ありて白鳥ありて點を河のほとと斑文ありて排排と
 ありて巴小郭が桃花馬と曰ふも又岑が赤驃と異也
 且亦雅も雅毛と稱するは渾雅の義ありて斑文の義も
 ありて被野疑ふなり録して漢の具を待

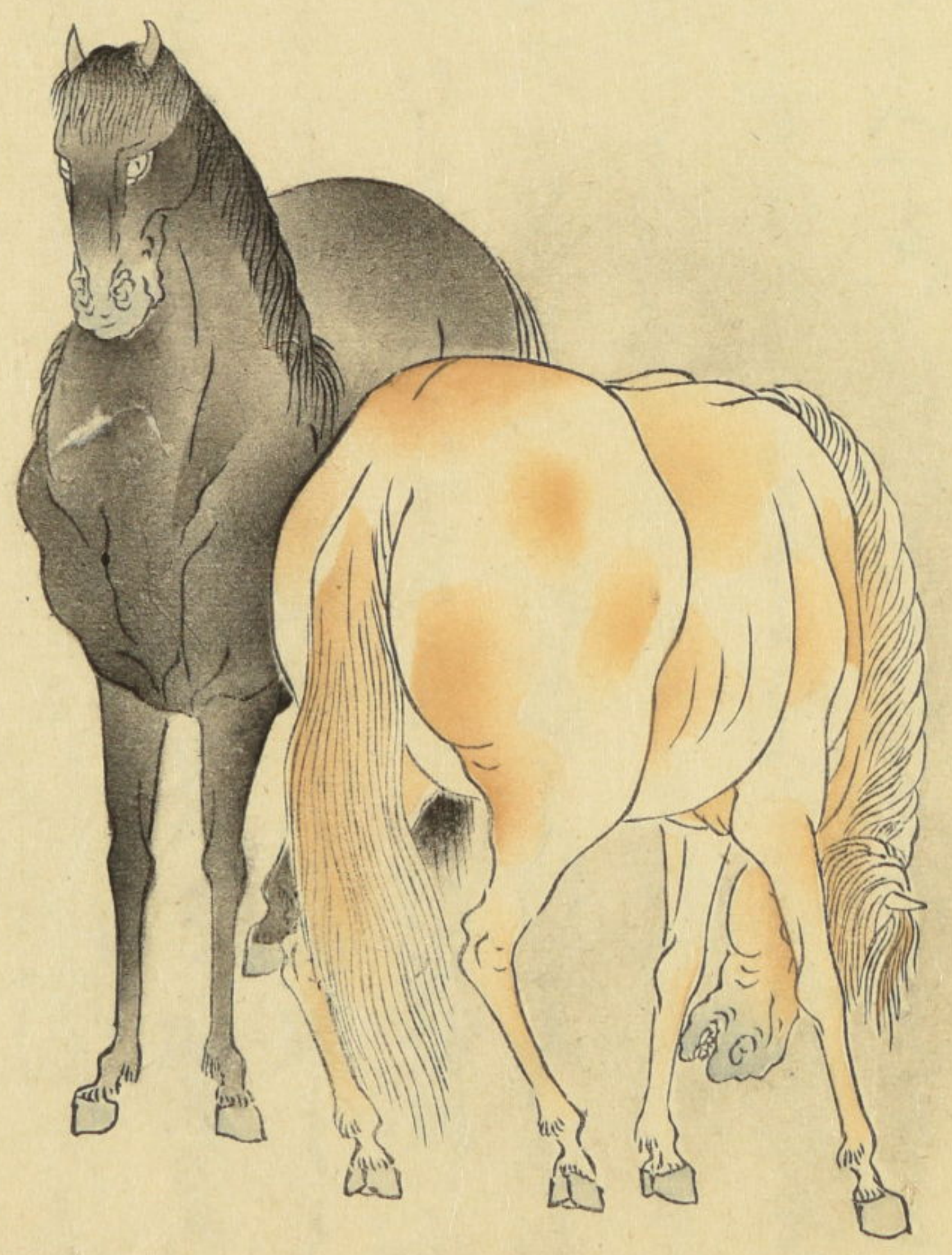
驥 他結切



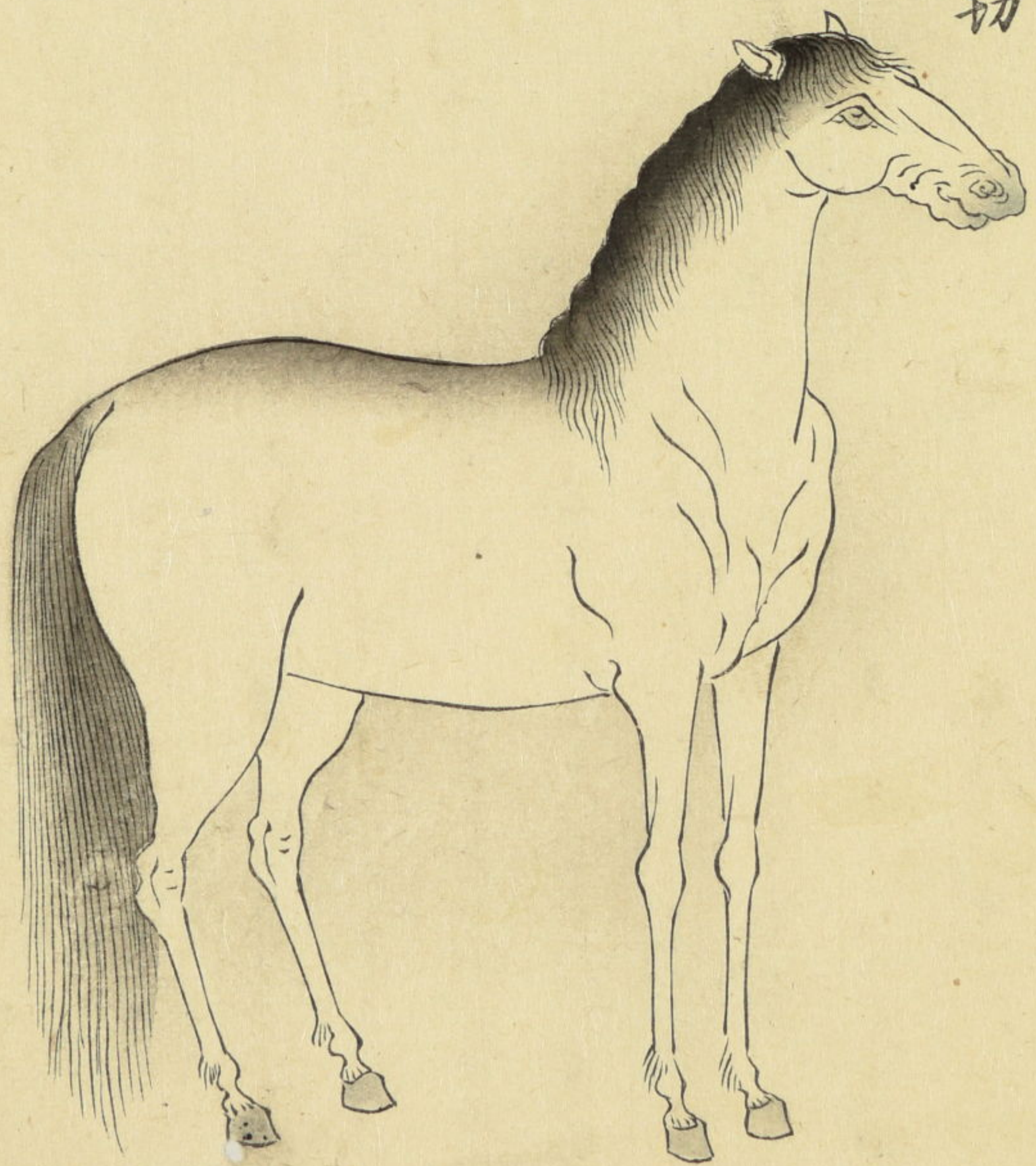
駉 敷悲切

黄白相雜レとて或ハ白ク或ハ黄カレと駉ヒと名ク驃ヒヤク之黄
 白ハ雜リある馬也但駉ヒハ音多クハハズレテ相シウレトモ
 驃ヒヤク之毛色黄カレトシテ相雜ル故小駉ヒハ常小駉ヒト
 總之レ時ありテ驃ヒトあり故レ從又ハ貴馬發白シカレリ
 と釋シ徐ゴ鉉ゼンカ驃ガン字ハ注小馬發シハ毛色淺處ありシハ
 伊イハハトシテハ驃ヒ之貴馬ハ黄カレトシテ白カレトシテハ
 伊イハハトシテハ
 驃ヒハ毛色前ハ臟チヤウ小相近シ俗ハ鴨川系毛トシテハ
 是ハ小ハ川カハ但驃ヒハ古書ハシハハシハ字書小赤黒
 馬也ト姑コク東園小シハハ

驃 毗名切



驃 他協切



駱 盧各切

駱ハ鬃^{ラフ}毛^{ウケ}カミ
 駱ハ鬃毛たる尾毛て通^セシテ脊^{セキ}小毛とすらある其ハ正
 況^ケ卑^ヒ雅^カ者^ガ人^ノ西^シ亦^オ雅^カハ自^ジ鳥^ト黑^ク鬃^{カミ}と駱^{ラフ}ハ廣^ク雅^カ者^ガ自^ジ
 朱^{シュ}鬃^{カミ}と駱^{ラフ}ハ明^{メイ}堂^{ドウ}位^イ小^コ駱^{ラフ}馬^バ朱^{シュ}鬃^{カミ}ハ文^{ブン}あり月^{グハツ}金^{キン}ト自^ジ駱^{ラフ}
 と稱^トトス俗^{ソク}ト黄^{ワウ}馬^バ呼^{コト}フ駱^{ラフ}ト是^シ其^キ説^{セツ}因^{イン}トス所^{シヨ}る所^{シヨ}
 以^リハ駱^{ラフ}毛^{ウケ}カミと名^ナの脊^{セキ}ト駱^{ラフ}毛^{ウケ}カミト名^ナをとめて全^{ゼン}色^{シキ}とを
 名^ナふるにあつたふゆ也但^タ自^ジ馬^バ朱^{シュ}鬃^{カミ}ハ駱^{ラフ}ハ多^タシテ朱^{シュ}鬃^{カミ}ハ
 駱^{ラフ}ハ罕^{カン}也故^コテ諸^{シヨ}書^{キョ}小^コ白^{ハク}毛^{モウ}ハ朱^{シュ}鬃^{カミ}と駱^{ラフ}トすといふゆふと又^{マタ}亦^オ
 圖^ド另^{リョウ}ト駱^{ラフ}毛^{ウケ}カミと駱^{ラフ}毛^{ウケ}カミト自^ジ馬^バ朱^{シュ}鬃^{カミ}者^ガなりと玉^{ギョク}鬃^{カミ}ト自^ジ馬^バ
 古^コハハ駱^{ラフ}也故^コテ亦^オト又^{マタ}駱^{ラフ}ト駱^{ラフ}馬^バトす所^{シヨ}る況^ケハをいづこ
 別^{ベツ}義^ギ者^ガハ駱^{ラフ}ノ類^{レイ}ト俗^{ソク}ト公^{コウ}背^{ヘイ}ハ毛^{モウ}トす又^{マタ}毛^{モウ}也



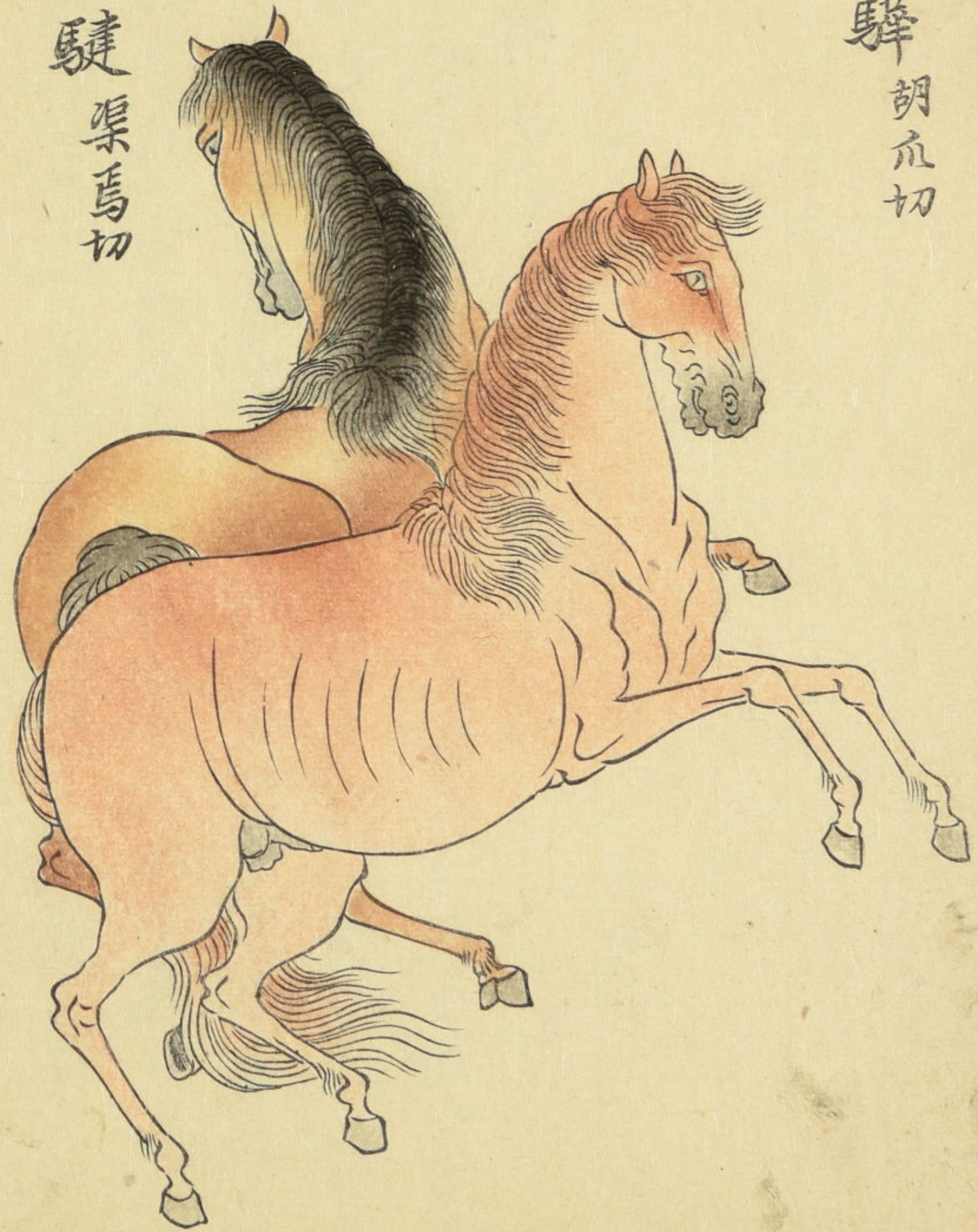
黄駱ハ月令小孟秋ハ白駱ハ駕カスと称イフ陰個リクテニ謂イフハオモ黄馬
 黒鬣ハ駱カストイフハ小白駱トイフハ黄馬ハ脊
 黒ナルハ皮毛單ヒツに駱トイフハ黄駱ハ和名ニホナの公キミトイ
 毛也白駱ハ單ヒツ駱ト別ワカルハ和名ニホナ沙シヤハ駱トイフハ毛
 ことと然シカル小令コレイの俗ソコハカストイフハ黒脊セキトイフハ
 あハ和名ニホナ沙シヤ駱カスを載カストイフハ知チテ今イマハカストイフハ也

驪ケシと亦雅曰驪馬リウ黃脊セキ。又志シもども赤馬の黃斑キウあり
りありび赤毛セキあり脊セキいより色シキうすく一道イダウと成ナリ
りありべし我ガ五ゴのいありこれ毛色モシキと聞クと

驪馬リウの系圖ケイトウの文按モンアヒ驪リウ駒コは良馬リョウバの名周穆シウモク乃駕ノカ右服ウヘク
の華駒ケウコの緑身リョクシ也也是也是也驪リウを毛色モシキは稱セイとする
は周シウと顔師ガンシ古コ漢書カンシヤウの注チュウは華駒ケウコは毛色モシキ華ケの赤セキとが
如ニく也也といふまにこれ華駒ケウコの字面ジツメンも就シテ解カクを他タとらるる
は也也といふまにこれ華駒ケウコの字とあせが合アヒり
し赤馬セキバの稱セイとするも誤アヤらばるふ似ニあり和名ワナ抄シヤウの驪リウと
赤馬セキバとして注チュウ漢語カンゴ抄シヤウを引ヒキて驪馬リウバの赤毛セキ馬也バ也といふ

大抵ダイテイ漢語カンゴ抄シヤウの説セツといふ古書コショと齟齬ソゴと信シぶべしといふ難ナン
しといふも和名ワナ古俗コソクといふに就シテみるべし姑ニく存ゾクて是コト也
といふ漢語カンゴ抄シヤウの又マタ赤驪セキリウをいふて山鳥サンニョウ赤毛セキモといふ此コノ際
古コへ赤毛セキモといふを此コノ合アヒ皆ミナ粟毛ムスモといふ驪馬リウバの合アヒ乃ノ紅ベニ粟ムス
毛モありべし又マタ療馬リョウバの書シヤウふまに驪駒リウコと稱セイといふ上ウヘ葉
の義イありて俗間ソクカンの稱セイあり

驛
胡瓜切



驥
渠馬切

